



ファミサポイメージキャラクター
あい
愛サポちゃん

袖ヶ浦市

ファミサポ通信 Vol.39

2017年（平成29年）4月15日発行

利用会員	179名
提供会員	38名
両方会員	11名
合計	228名

発行：袖ヶ浦市役所子育て支援課 / 編集：ファミリーサポートセンター

（4月1日現在）

ファミリーサポートセンターとは、子育ての手助けを頼みたい方と、子育ての手助けができる方が会員となって組織をつくり、一時的な子育てを助け合う有償の相互援助活動です。

新年度が始まりました。色とりどりのランドセルを背負った1年生はもちろん、進級した子ども達も元気な笑顔で登校する姿を見ると、とても嬉しい気持ちになります。

今年度は、「交流会」がリニューアルして、「ファミリーサポートセンター主催講座」になりました。第1回目を6月に企画しましたので、ぜひ足を運んでください。



ファミリーサポートセンター主催講座

「睡眠と健康の基礎知識」

どなたでも
参加できます！

「ファミサポ交流会」は本年度より「ファミリーサポートセンター主催講座」と名称を変え、会員以外のどなたでも参加できる講座になりました。年3回開催します。

今回は、寝苦しい夏がやってくる前に睡眠についての正しい知識を学びます。お子さんやご家族、またご自身の健康を守るために、大切な「眠り」について市内在住の睡眠改善インストラクターからお話を伺います。皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

日時：6月13日（火）10時30分～12時

場所：そでがうらこども館 多目的室

講師：笠原 昇氏（睡眠改善インストラクター）

参加費：無料

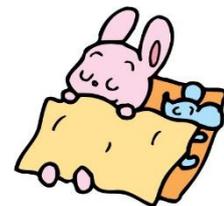
対象：市内にお住いの方 定員：20名（申込み先着順）

申込〆切：6月3日（土）

保育があります（定員5名 会員優先）

*保育を希望する方は、申込時にお知らせください。対象は2歳～就学前のお子さんで、保険代で1人200円必要です。2歳未満のお子さんとはご相談ください。

（こども館内でおやつを食べることはできません。あらかじめご了承ください。）



☎ 電話・FAX （64）3115

子どもの心の発達と、発達障害のある子どもの理解



佐々木 郁子先生

千葉県立楨の実特別支援学校より特別支援教育コーディネーターの佐々木郁子先生を講師に招き、子育て学習会を開催しました。始めに、子どもの年齢に沿った心・言葉・行動などの理解と、その時々大人の関わり方について学びました。次に発達障害の子どもとその家族について理解し、支援へとつなげる内容を学びました。特に発達障害についてはDVDの映像を見ながら講義を進めていただき、理解が深まりました。



「ADHD(注意欠陥多動性障害)」と「自閉症スペクトラム」について、詳しい説明を受けました。支援のポイントについて一部をご紹介します。

<発達障害の子どもへの、支援のポイント>

- ① 共感：障害の特性(感覚の過敏や強い不安など)を理解して寄り添うことで信頼関係を築くことができる。
- ② 構造化：空間(周囲の刺激を減らす)、時間(時間的見通しを作る)、伝達のわかりやすさ(絵カードなど視覚的手段を使う、短く具体的な言葉で伝える)が大切。整理された環境の中で、やりたい活動に取り組み、できた喜び、他者に評価される誇りを積み重ねることが重要。
- ③ 自己肯定感：「自分は自分のままで大丈夫」という気持ちのこと。「自己肯定感」には「競争的自己肯定感」(競争に勝ち、他者よりも優れていることで自分の価値を認める気持ち)と「共感的自己肯定感」(自己のかけがえのなさ、そのままの自分を認める気持ち)がある。後者の力を育むには、信頼できる仲間とのやりとり・活動が重要。

※学習会資料の欲しい方は、ファミサポまで連絡ください。

<参加者の感想>

- 子育てや子どもを客観的に見て、理解をより一層深めていきたいと思いました。
- 自閉症の特徴、初めて知りました。
- 子どもの成長期の状況・特徴を知ることができました。発達障害の子どもを細かに知ることができました。
- 「依存と自立」の話、DVDがとても参考になりました。ADHDの説明の中で、『集中しやすい環境を作る‘時間の整理’‘空間の整理’』は、当たり前のように、とても大切だと思いました。「終わりが分かること」の重要性を意識したことがありませんでしたが、今後の子育ての中で活かしていきたいです。
- 発達障害については、自分の家族と照らし合わせて色々と考えさせられました。子どもの成長については私が子どもに対して成長に合わせて遊んだり関わったりしてきたので安心しました。母親も子どもと一緒に自然に成長しているのだと感じました。家での子どもの関わりは親のそれぞれだと思いますが、他人(社会)はどうやって子どもと関われば良いのか?こういうお話を聞いたら良いと思います。
- 子育て真最中の母です。我が子はこだわりが強い場合もあれば、他の子どもと普通に接することができたり、集団で難しい授業もあります。子どもとの関わりや共感してあげることの大切さや大人の理解がもっと増えると良いと思っています。

子育て学習会案内

小児看護の基礎知識

今年度の子育て学習会第一回目は、子どもの看護をテーマに開催します。子どもは小さければ小さいほど、自分の体調や症状をうまく言葉に出して伝えることができません。そばにいる大人が早く気づき、適切な対処をしてあげることが大切です。学習会に参加して、困った時の参考にしてください。

日 時 : 7月11日(火) 10時~12時(受付9時45分から)

場 所 : 保健センター 集団指導室

講 師 : 健康推進課 小川 香織保健師

対 象 : ①ファミリーサポートセンター会員

* 提供会員・両方会員の方は、必須研修です。ご都合をつけて参加してください。

②市内にお住いの子育て中の方や、保育に関心のある方(定員20名)

申込〆切 : 6月30日(金)



保育があります

* 保育を希望する方は、申込時にお知らせください。対象は2歳~就学前のお子さんで、保険代とおやつ代で1人300円必要です。2歳未満のお子さんをご相談ください。

☎ 電話・FAX (64) 3115

ファミサポ入会説明会

日 時 : 4月25日(火) 午前の部 10時30分~12時 午後の部 1時30分~3時

場 所 : そでがうらこども館 多目的室

申込〆切 : 4月22日(土) ☎ 電話・FAX (64) 3115

必要書類 : 写真(2.5cm×2cm)2枚・市内在住が確認できるもの(運転免許証など)

ファミサポの会員とは?

- 利用会員…市内在住、または在勤で生後6か月~小学6年生までのお子さんがいる方。
- 提供会員…市内在住の20歳以上で心身ともに健康で、子育ての援助活動ができる方。
- 両方会員…利用会員と提供会員の両方を兼ねる方。

(提供・両方会員は、基礎研修会を受講後、登録となります)

会員の皆様へ
ファミサポに興味のあるお知り
合いがいらっしゃいましたら、
ご紹介ください!



センターからのお願い

★登録内容に変更があったら、必ずセンターにご連絡ください。

○引っ越しをしました。

○仕事を始めました。

○電話番号が変わりました。(自宅・携帯)

○赤ちゃんが生まれました！(6か月になったら登録できます。)

○4月からお子さんが小学校・幼稚園・保育所(園)に入学・入所(園)、放課後児童クラブに登録など



★利用会員さんへ

○提供・両方会員さんへ援助の依頼をしたら、必ずセンターに援助日を報告してください。

習い事など同じ曜日でも、毎月報告してください。報告のない活動は、補償保険の対象になりません。キャンセルの時も同様をお願いします。

報告内容 ⇒ 利用会員氏名、お子さんの名前、提供・両方会員氏名、援助日時、援助内容



ファミサポ掲示板

ファミサポ掲示板では、地域の子育て支援情報を紹介します。

子どもるーぷまつり

2017年6月25日(日) 10時～15時(開場9時45分)

(エンディングショー以外は14時30分終了)

袖ヶ浦市民会館 中ホール棟 入場無料

(一部有料コーナーもあります)

客席ひとつの人形劇場「ぴぴ☆しあたい」 エンディング パフォーマンタロウのバルーンショー
人形劇・パネルシアター・けん玉体験コーナー・子どもアート体験・フリマ&バザーなど・・・♪

この他にも楽しい企画がいっぱい！！

主催・問い合わせ：NPO法人子どもるーぷ袖ヶ浦

電話・FAX 63-2850(月・水・金10～15時) 共催：袖ヶ浦市

★今年から「わくわく子どもフェスティバル」より改称しました★

＝編集後記＝

天気予報の中で花粉の飛び量が少なくなってくると、ようやく外で思い切り深呼吸できるようになります。東京ドイツ村の芝桜が4月下旬まで見頃のようなので、今年こそ行ってみたいと思っています。

M.I

(問い合わせ)

袖ヶ浦市ファミリーサポートセンター

〒299-0257 袖ヶ浦市神納1136-3

(そでがうらこども館内)

電話・FAX 64-3115

開所時間：午前9時～午後5時

(日曜日・祝祭日・年末年始 休所)



☆ファミサポからのお知らせは、広報そでがうら・子育てポータルサイト「はっぴーネット」袖ヶ浦市ツイッターにも掲載しています☆